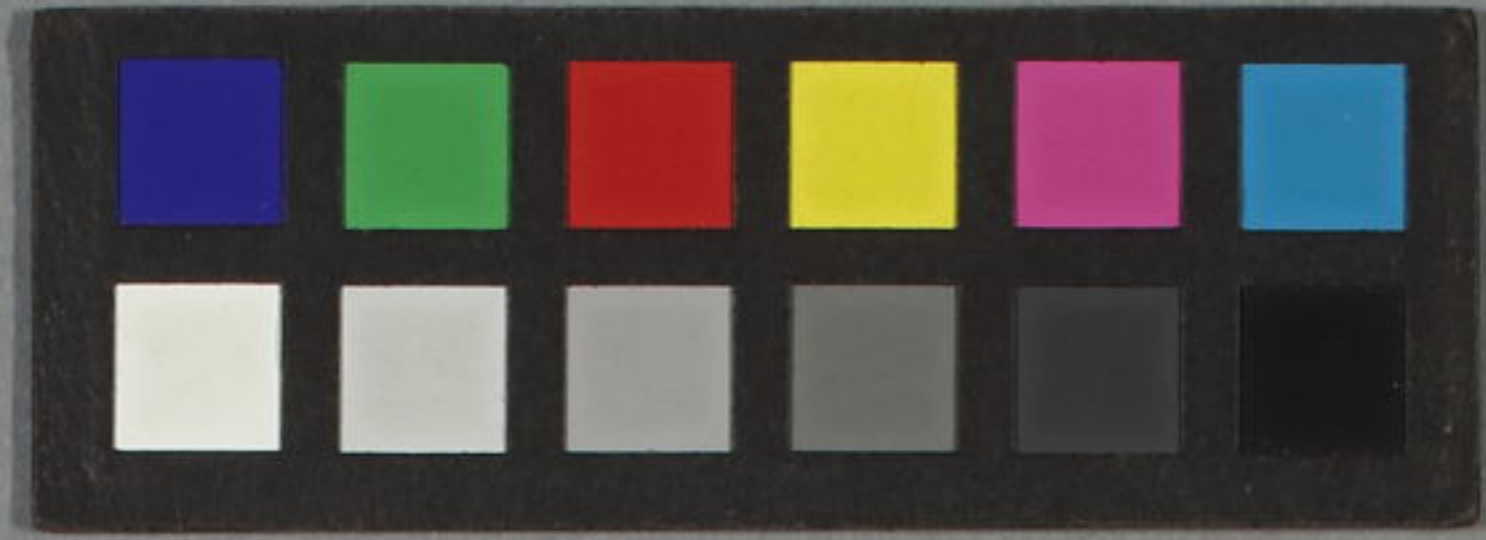


特別
千九
5509





子9
5509



抄樣年終
馬(龜)分由禪
玉待是乞一家
出院

蜀山人疏

寒山子



ちりしりまの染をてし語をたし
 四季に模様を十二月に於て
 ちりしり即用手紙と名付けたる
 人々春のしるしは妹をうらむ
 模様を夏はあつちをうらむ
 志のんとしるしをうらむ
 ちりしり或を略しちりしり
 かきうらむ中子縮免ちりしり
 婦今しるし相入りしりしり
 よめしるしちりしりしりしり
 ちりしり
 梅丸しるし
 ちりしり

手鑑模様節用目録

後儀小袖之色總模様之圖

七箇の儘の意と一模様又附たる圖

中模様并島厚附玉川漆等ハガ

襦きり老若ハガの諸圖

當世酒蒸りやうれ等

男子後毛やう一式の圖

振袖の説尾時代ふけい變の圖解

曾れ本式衣裳ハガ

同うと着腰巻地紋ハガ解

衣折ハ小袖ハハガの式圖式

ハ直一定の事

襦き帯ハ式并産忌ハ式紋の圖

小児うしろ何の事

衣服裁法の法字并縫おむ得の事

裁もの小羽衣吉日西日事

襷袢よ吉出あるむ得の事

小児いさひの帯三指香と帯と夏

正式うしろの部并考説

帯紋くわ幅くわ幅くわの事并考説

紋の各目教多の事夏并裁圖

襟ものめりくくむ得の事

上之巻目録終

同下巻目録

總換様文字入麻れ子の圖

腰りやうつらるる事

源氏換様之枚重の圖

夏斗目づく腰もやうれ圖

八雲りやう老若附るの事

襟もやう變化の事

けうぞん換様諸類の繪圖

縫の衣裳麻の子はれ夏

信の意源氏りやう考附方む得の事

は縁おれ性を新で考る修法の事

文字入換様造賜の事

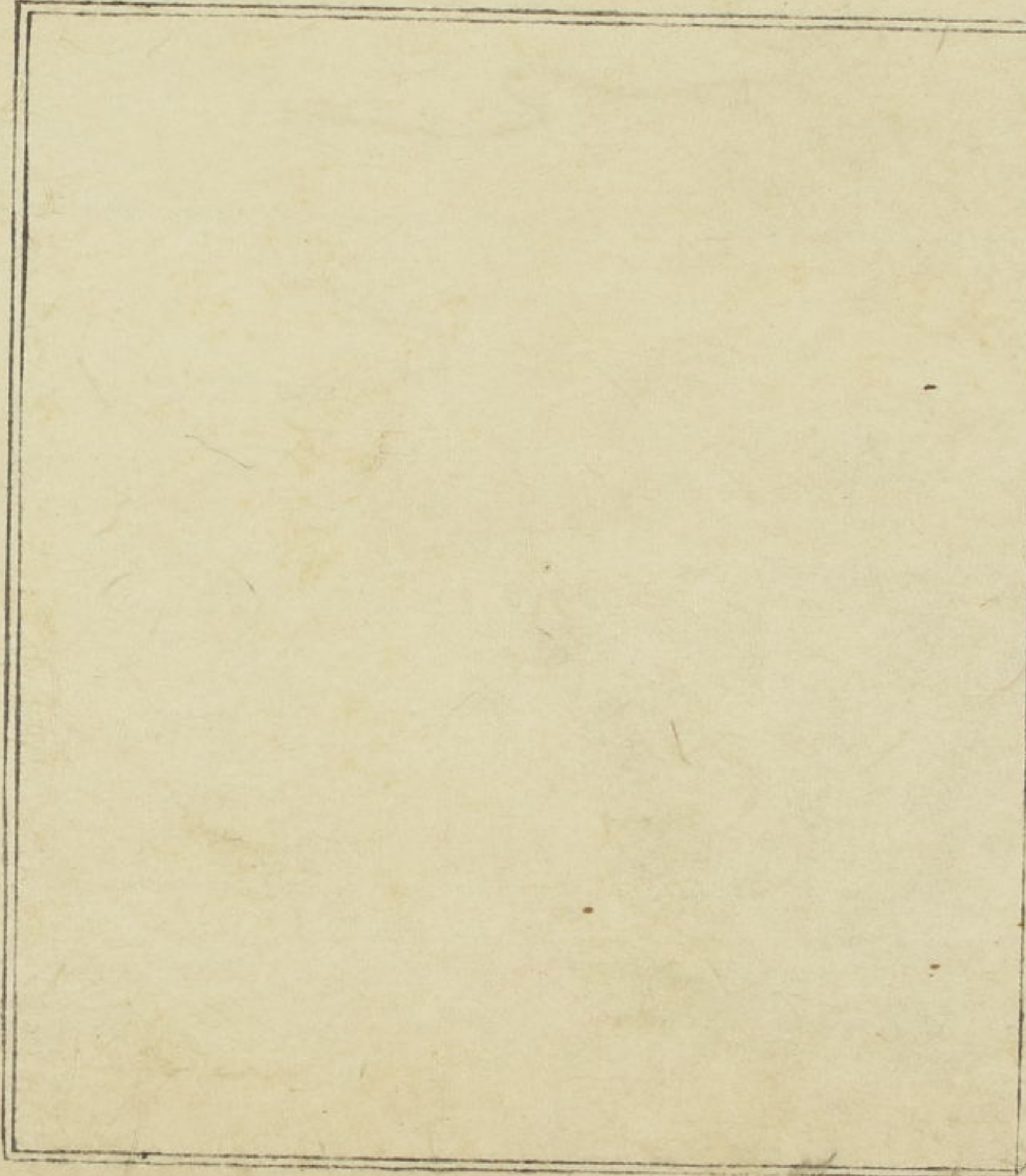
太史麻れ子の夏并江戸麻子れ説

八景 はつげい 松梅 しょうばい 湯鶴 ゆづる の事

四季衣裳 しきいそう 忌例 いみれい 次第 しだい 次第 しだい

十二月 じふにがつ 都分 みやこぶん 當世 あきよ 模倣 もぼう 類聚 るいじゆ

下之卷 したのまき 目錄 もくろく 終 はつ



壹番 いちばん

松井梅總模倣 しょうまいばいそうもぼう

上着 うわぎ 地 ち 々 々

中着 ちゆうぎ 地 ち の の 々 々

下着 したぎ 地 ち の の 々 々

右 みぎ いづれ いづれ も も ぬい ぬい り り 子 こ 入 いり



Vertical text on the left edge of the page, likely a page number or title.

○ 大正 〇月 〇日
總ねいそりまやう

貳番 謡の模様

何だのどくひとらわ袖一
七番まつけるなめりま
一妻のころをいとめゆり
つくるもあつ。なつたあま
よはな

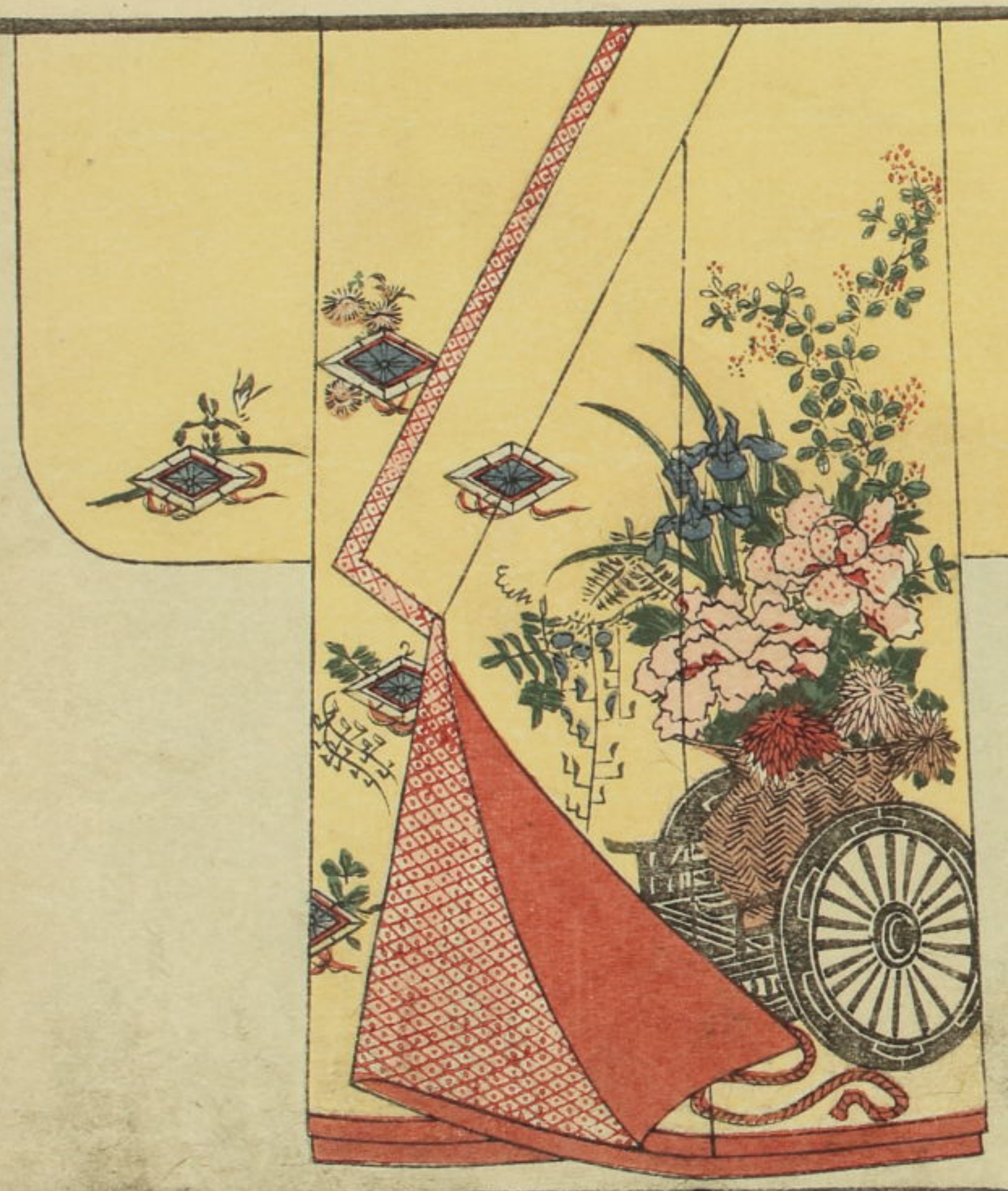


中りやう

この図き行袖がをあら又女袖
一。やうとんよりゆうつ合つ図の中
りやうあり

三番 花車よゆいそま

四番あひだらちあひ
廉れみ



○ 大正 〇月 〇日

ちよぶづり

ちよぶづりのついでにすそより
こぼれ入るて。ちよぶづりすそ
ちよぶづりのついでにすそより
こぼれ入るて。ちよぶづりすそ
ちよぶづりのついでにすそより
こぼれ入るて。ちよぶづりすそ

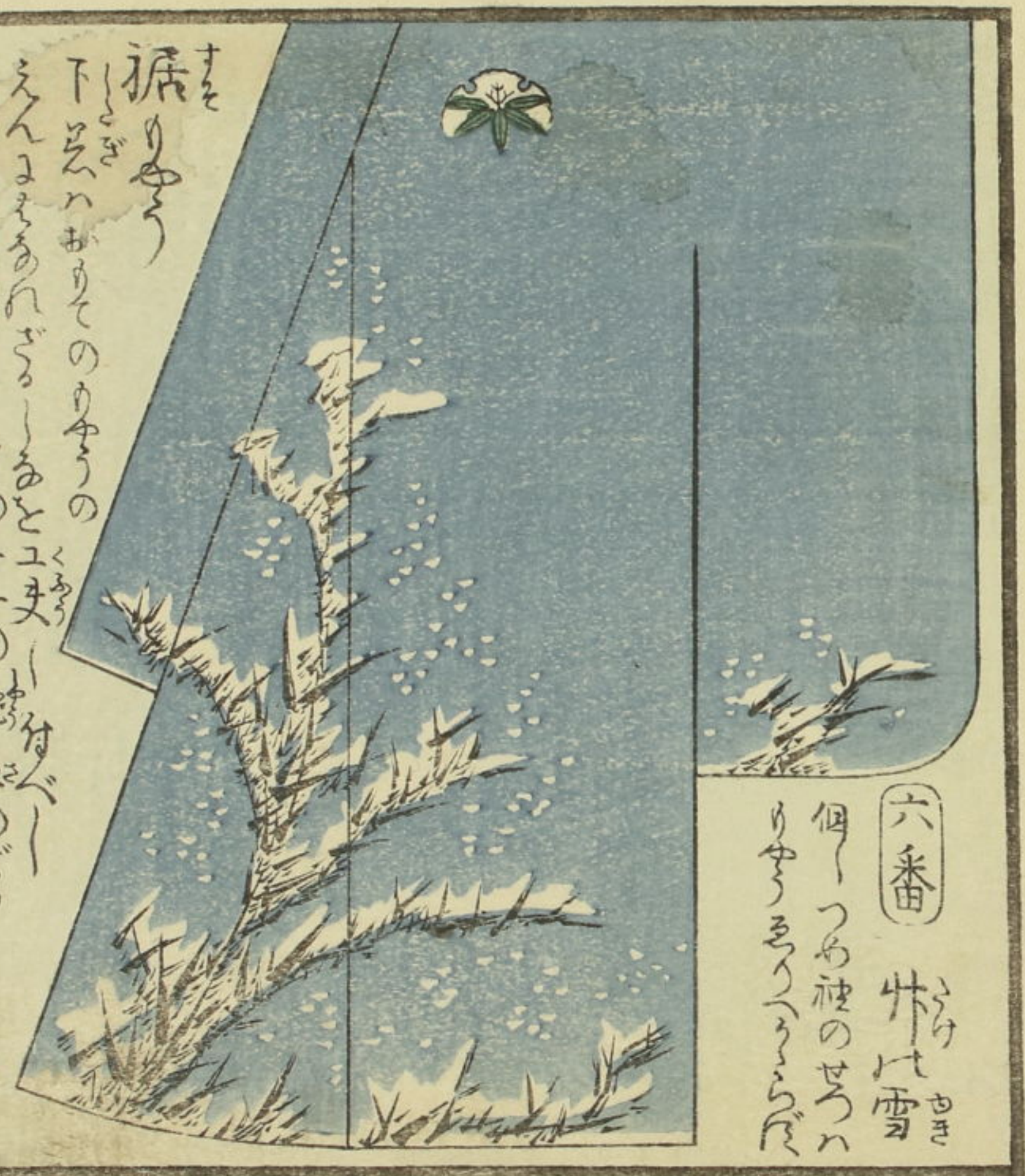


五番 ちよぶ河

俗名川どうりやうと
いふ

六番 井は雪

個一つ神社のせうに
りやうきんへうらら



振り

下はわがりのりやうの
えんよそあれざるしをユウ
その一ニの徳たのび

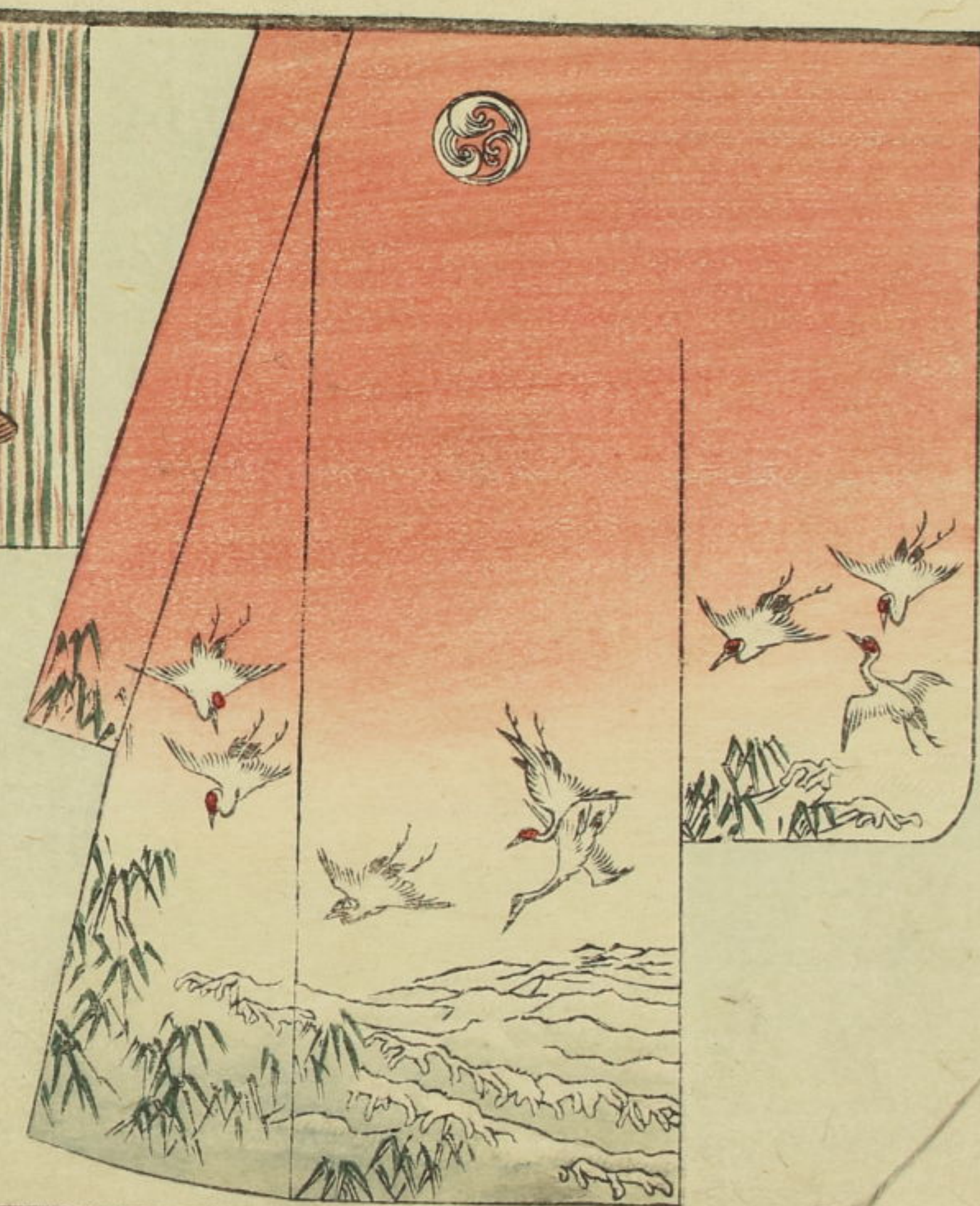
七番 千羽さざり

八番 あぐれは松まつを



九番 袖裾りやう

和みの浦



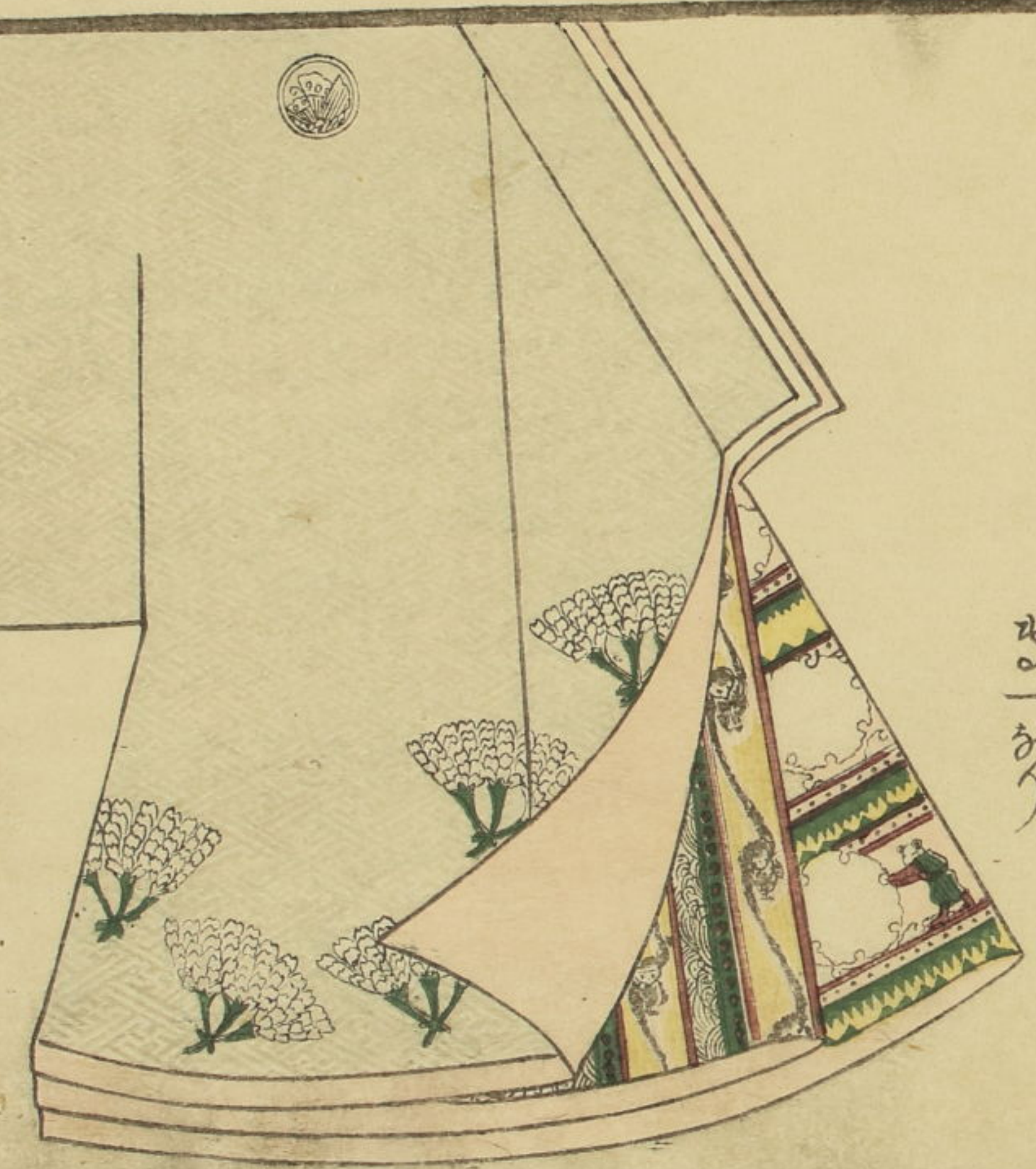
十番 いよほめをくれ貝

これと古のれこふあれがめで
りやうわ々の浦のとき
かあぞ下をよふうあ接
やうどりあをせおりろー

十一番 雪月花

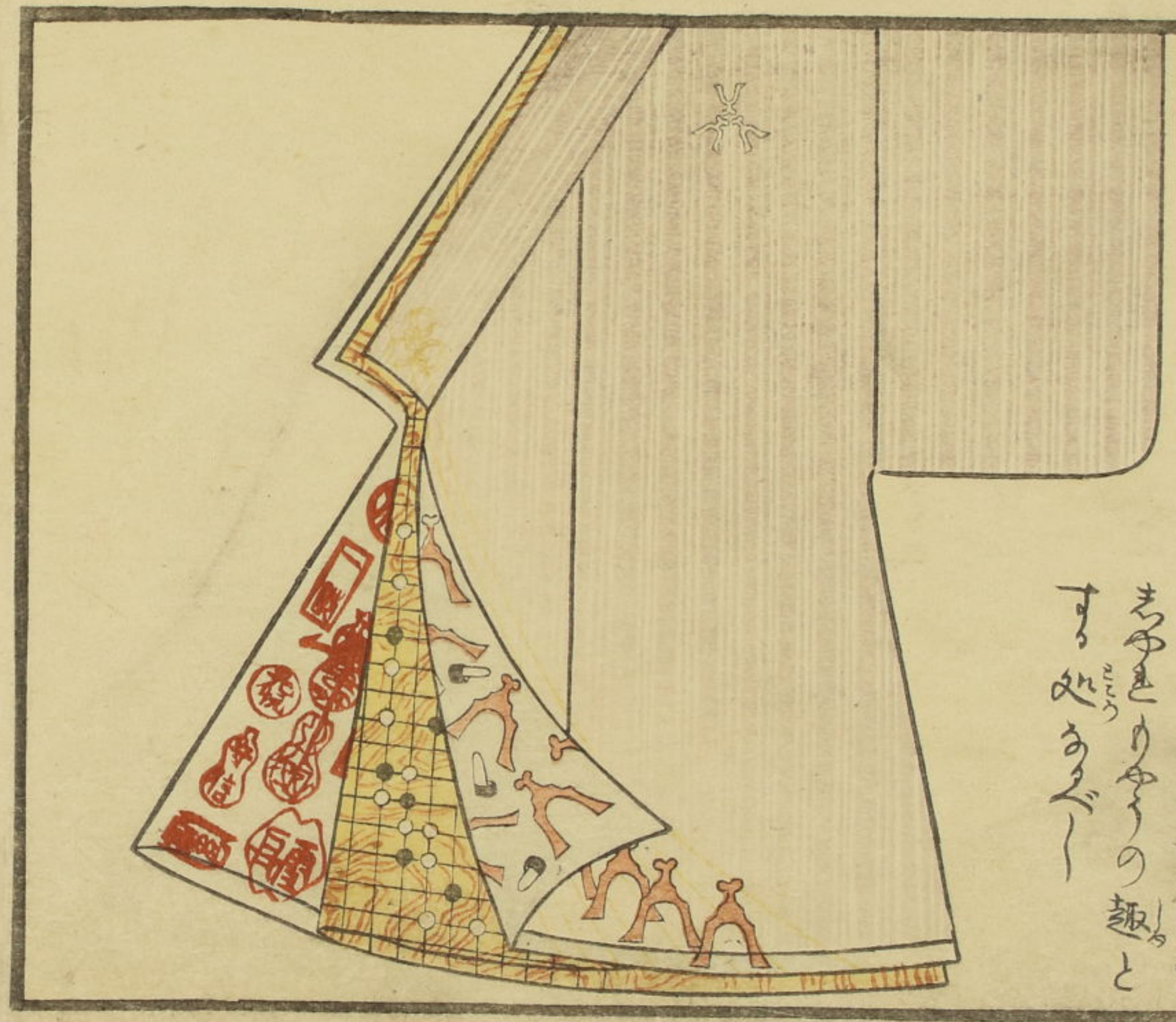
重の図

けつげいのこころあつて
りやうこころのこころ
あそころをよふうあ接
ひんよくあんどあつて
あつて



酒しやく落おちりりめめうう三さんままいいままのの回わい
十番じゅうばん 琴こと基き書しよ画が

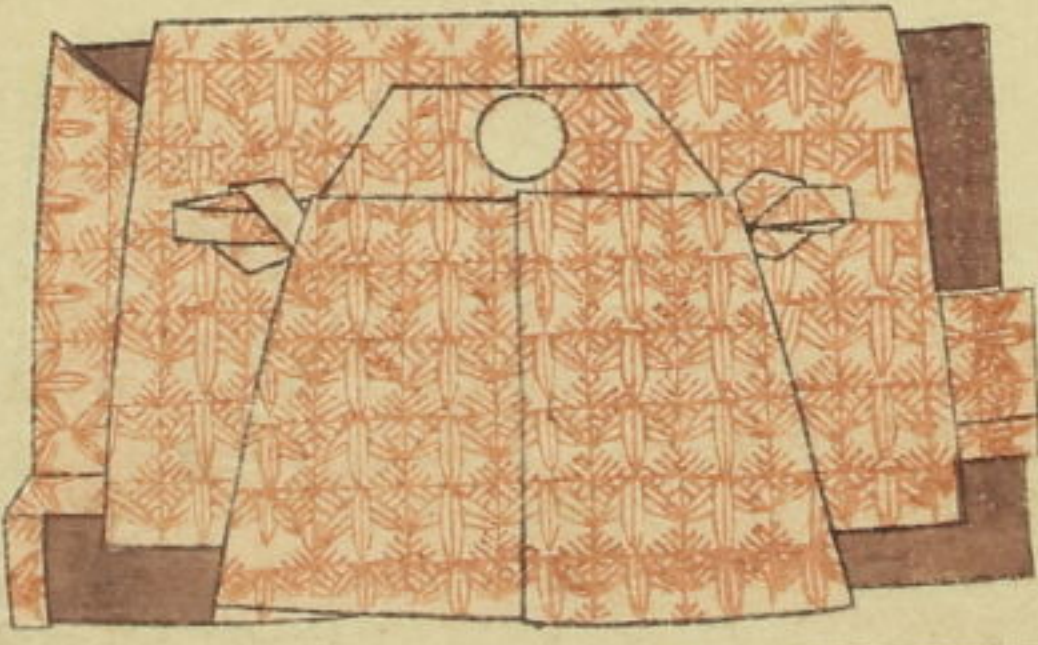
かたりのうた。ちよ
しく。ぶーん
まきりやうの趣と
す処あぶー



男おとこ子こいいくくひひのの衣い裳裳

十三番じゅうさんばんかかとと志し毛もう松まつ竹たけ小こ紋もん

香かう祿ろく



男おとこ女よめももいいままののままいい
かかああずず三さん振ふ香かうとと糸いと子こ
かかここよよまますす



十番じゅうばん能のう道だう
一いち須す式しき

神代卷之替り候御
十五番 鯉れ鯉



女子いひのきりさうりよ
かきも 女人のきりさうりよ
めをきりさうりよ
かきも 玉まきりさうりよ

振袖の流き、時代より変化の品

うし袖と忌ききり。風流のたぢよあは
小兒き。弦つさか人よきりさうりよ
ゆきさうりよ。より男女きよきりさうりよ

袖ひききりさうりよ
元和の頃流行して
寛文の頃まで
これとちりあ

袖ひき一尺みす
延宝天和のころきよ
おこきりさうりよ
大なり袖あり。

きりさうりよ
あきりさうりよ
ゆきさうりよ



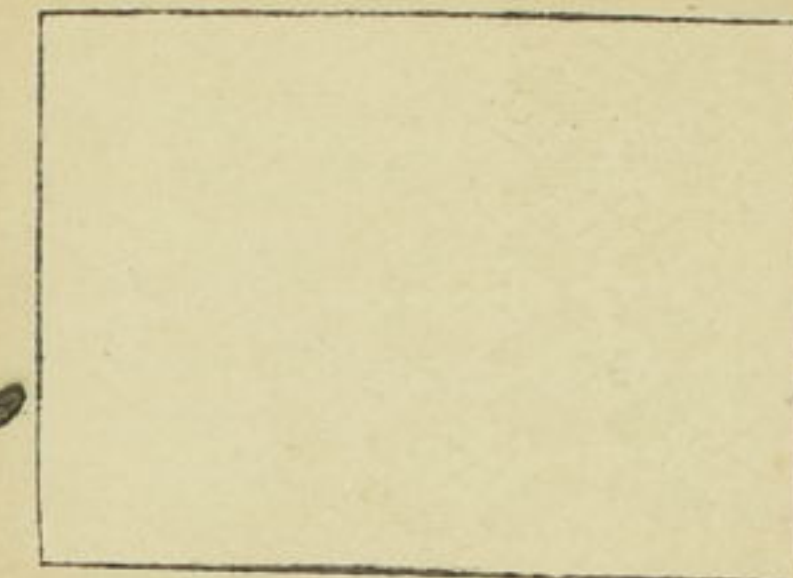
かく袖

袖ひききり
享保の頃より
ゆきさうりよ
世よ八尺袖とよ

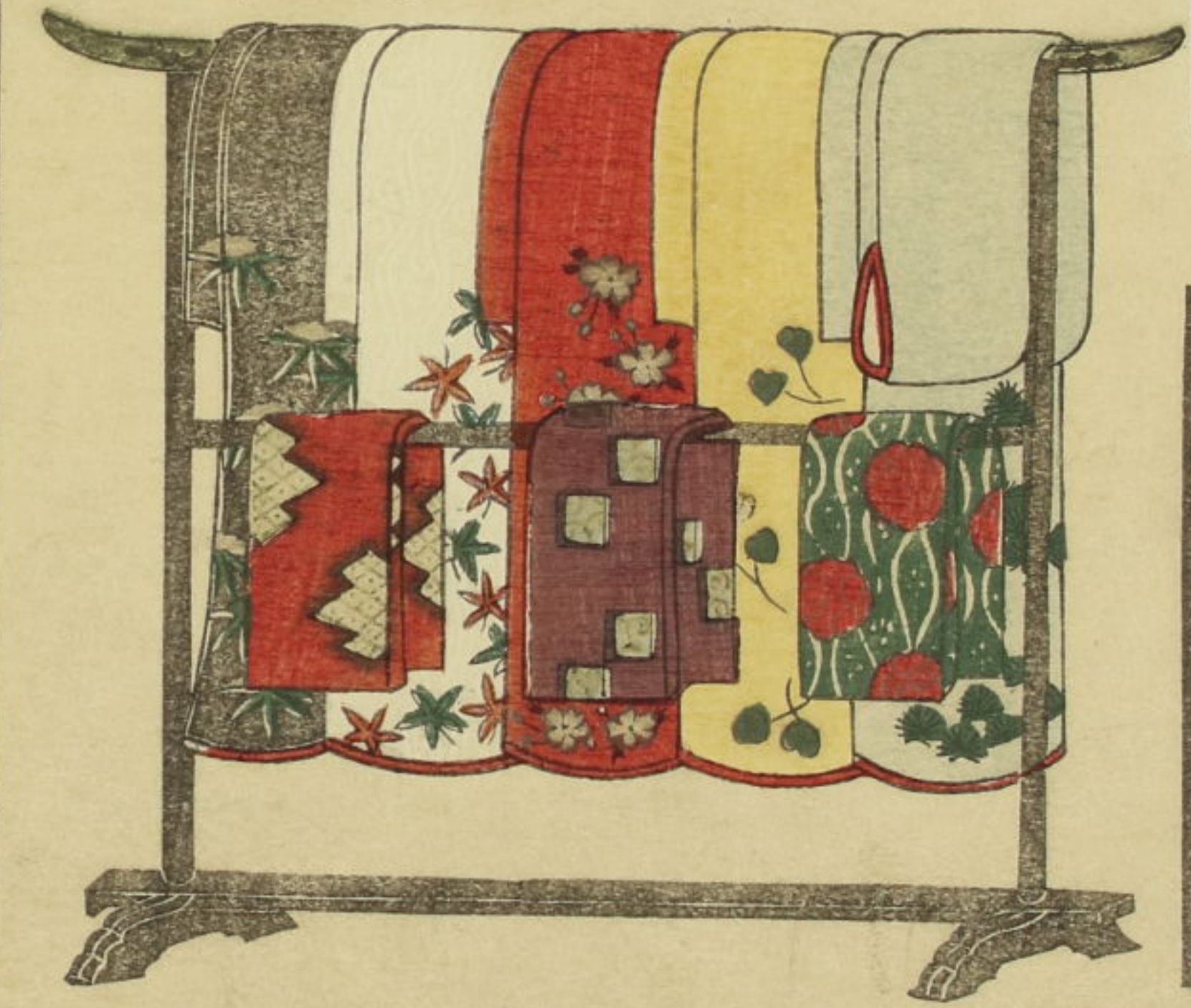
白の幸ひ甚
く人共のまじり
ぬい思ひも
これより

白の幸ひ甚
く人共のまじり
ぬい思ひも
これより

夏ハ腰巻と着
あつと又夏
袴箱わの箱
あていんと



衣拵
小そで
りケ
春々
順
左



婚禮本式衣服之事

春々
順
左
衣拵
小そで
りケ
春々
順
左
えんまの衣服を
右めあへんす
白のや幸
ひふくし
いふの終り
又白
と付ると本式
とされども
差略
白と
用ひざ
時を
壹番
の図
めあへん
たる
地黒
地あり
地白
とがさぬ
用ゆ
地黒
と赤
梅と
色み
婦人
す一の
くれ
とと
その
次身
たと
まむ
元日
の服
地黒
あり
二日
地赤
と
三
日地
白と
順
定
する
者
因
こ
ある
人
婚
孔
の
せら
本
式
白
あ
され
替
り
る
白
め
地
白
と
さ
な
ぬ
着
る
より
と
ま
より
ど
ころ
も
あ
ま
い
不
当
の
條
あり
地
白
と
ま
いろ
糸
ね
い
入
或
ま
り
ん
と
ま
り
る
地
白
は

かたりぬのかたりぬ変かくりありぎなあり
 衣い桁ぎらみこ袖そでけやうれま夏なつ

春 春 のどく	夏 夏 のどく	秋 秋 のどく	冬 冬 のどく
赤 白 青	赤 白 青	黒 青 赤	黒 青 赤

本式ほんしきののやや。よよくくわわるる。古こ宴げん井い
 たたががししぎぎややううよよ。獄ごく師しをを。まま一いちあり

いいちちのの夏なつ

ええんんれれのの規ぎ式しきのの衣い服ふくととああ紅こう巾きん智ちとと
 色いろああめめとといいちちありあり。けけ時ときむむここののささよよううにに
 むむええのの小せう袖そでととああるることこと。定ぢやう例れいあり

壞くわい妊にんおおびびのの事こと

いいちち一いち白はく指さし八はちととおお指さし八はちとと
本式の白をり
當時ありとも

四よつつみみななららみみ。そそののままががたた右みぎのの袖そでよりよりもも
 女にここれれとといいけけららいい。いいちち一いち夏なつ古こ宴げん井いとといいちち一いち
 幸さいねねいいとといいちち一いち。此こゝ日ひ吉きち辰ちんとと撰せんけけりり入いるる

何なにししのの島しまななののああらら美みままででああるる。そそののららいい
 生なまのの後のちとといいちち一いち。又またいいちち一いち。いいちち一いち。いいちち一いち。いいちち一いち。
 つつくくららいい。ああららののこことといいちち一いち。



運うん歩ぽ集しゆ三さん亀かめ鳥とりと
 カカニニトトリリトト讀よみトト云いフ
 右みぎののみみ八はちとといいちち一いち。
 りりちち一いちとといいちち一いち。いいちち一いち。
 ささららいい。

小こ思しいいちち一いちとといいちち一いち。

むむううのの男おとこ女めづもも。七しち女にょのの誕たん生せい日にちままててららしし
 ろろいいもも。いいちち一いちとといいちち一いち。いいちち一いち。いいちち一いち。

但一尺或たさつ。たさつは袖の長さ

はちのちの袖はたさつは袖の長さ
たさつは袖の長さ
物におもひかたはたさつは袖の長さ

あそび	あそ	
	あそび	あそ

かたはた。たさつは袖の長さ

たさつは袖の長さ

總てたさつは袖の長さ

たさつは袖の長さ

たさつは袖の長さ

たさつは袖の長さ

○たさつは袖の長さ

己丑申す。二日とあり。日とあり。備令
きれ極秘あり

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

あそびは袖の長さ

うらみかけこも。こつ小番祓とりなり雄美
 日うあう。麝香とくそんのもあみはくみ
 腰み付る。こつ雨毒田とくそんもあみはくみ
 紅花のおまど。わさめとそめて餅よまこ
 り。長生之病の神法あり

右の内福藻毒田の四種。り
 得がくおり。わさめんこつ。江戸本町
 梅まは。見せ入る人アよあく入来
 るさるるくい。を料めり。多少とも
 一切らけ不中い

○新古染色考説附色譜

真紅

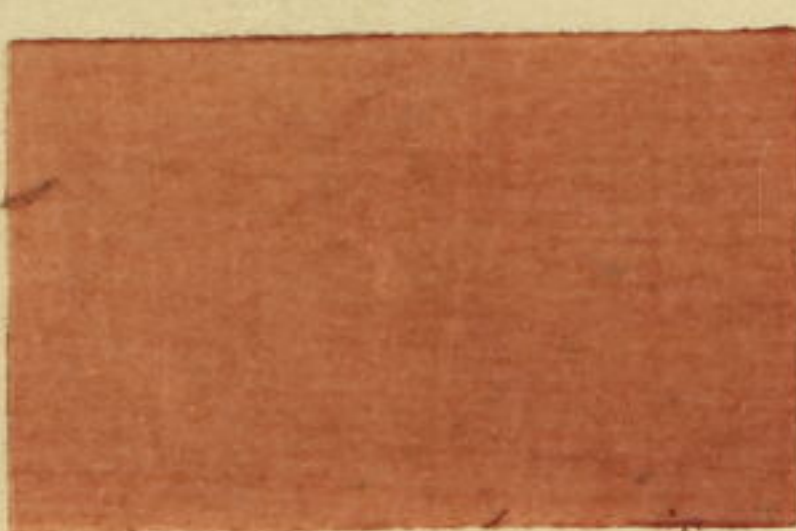


緋



丹

あう紅



武蔵とてん。ほ又まうい。紅とてん
 誇り。むつさの米どうふとつら
 今の江戸むつさのたんい
 あう。字音。家。米。結の
 紅とてん。紅とてん。あう。結の
 案とてん。この結い紅。一。結の
 本と奪。とてん。紅。よて。本。紅。と
 本。結。紅。とてん。紅。よて。本。紅。と

オホ木貨片

花いろ

古名
又鴨頭州の花の
いろといふこと



あざね

正名
中古うすりえごと
俵葱ともまわ



井花いろ

三井
好
の
花
いろ
ト云



水浅葱

俗名の
又の
いろ



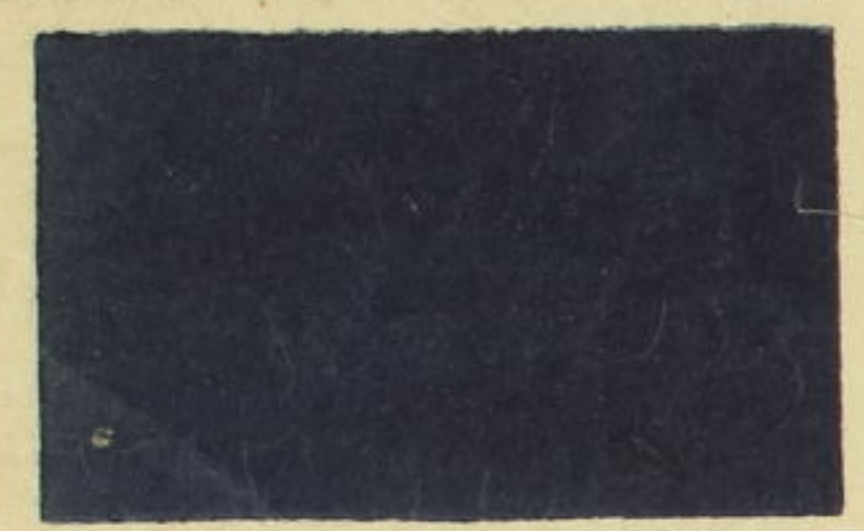
そらいろ

中いろと号い
ごより
と
ちん
いろ



えん

古名
深
縹



あざね

一名
と
いろ



うん
そのよあ
あを
と

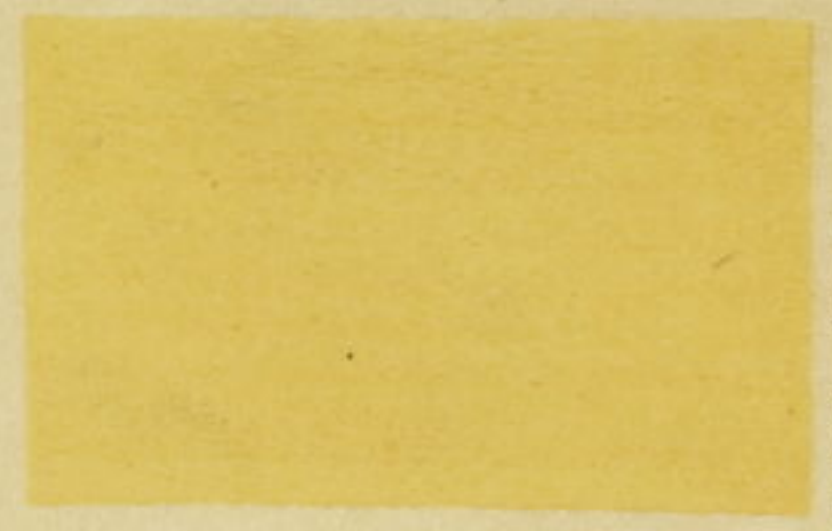


根
一説
宗依所好
と

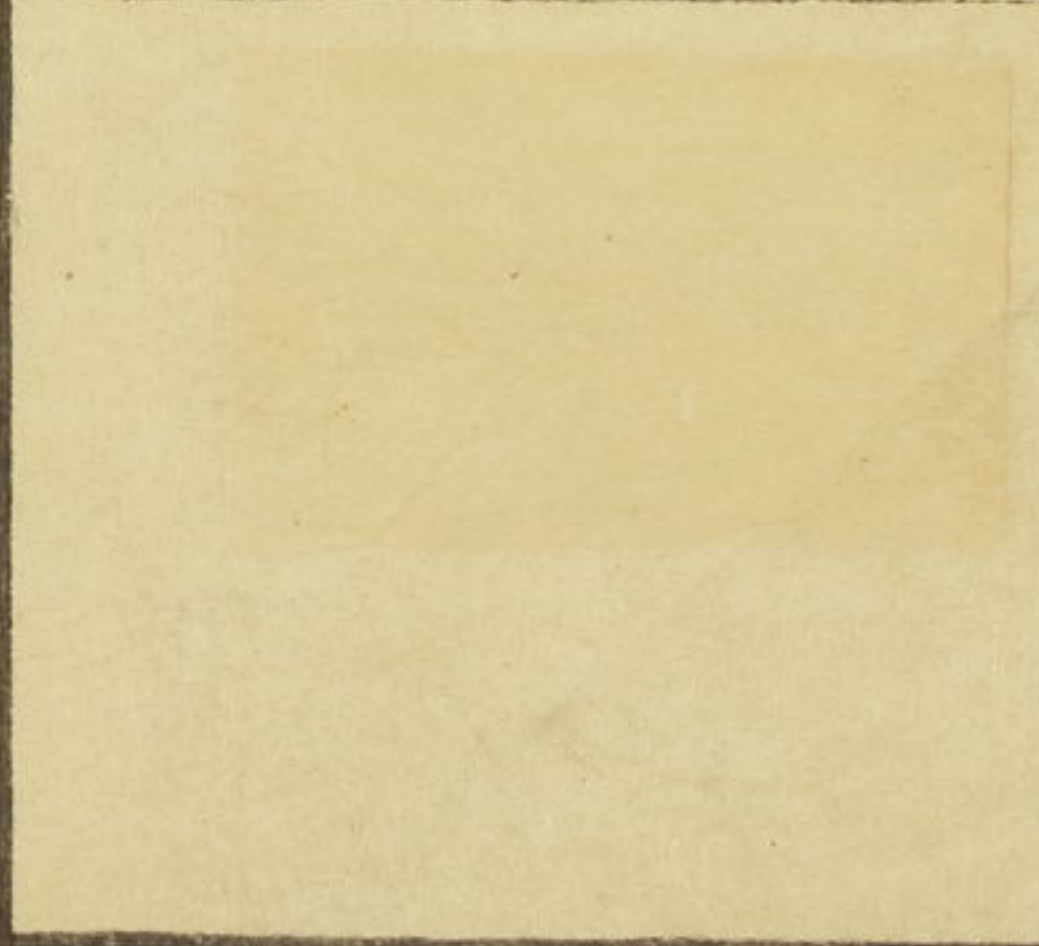


山
古名
支子保

法曹至要鈔曰支子保
可盪黃丹以茜紅交條



茶
おろ
の二種あり



黄

應永年中

世の人蘭と乱の声あひあを
いそりひざるよりよんく
今らん茶の名とえたり



子

古名あ
延長後殿
あさき
りつては

び

俗
か
と



くろ
上品とびんぐろ
そのまゝのトクモ
あはれあまき
ほろろ



こげ茶



黒とび



くろ茶 一名
けんぐろ



黒紅梅

古名
濃二益 俗子
くろぎに 或を
くんやうと習
生肉付人子地
すいりだ
ゆらゆ



てん茶

愚業
昔茶とまて
まぶ茶とまて
まぶ茶の皮後
ゆらゆら
ゆらゆら
あまき



なま

俗よそんけい
あまき
かつあまき
よてあまき
あまき



なま
あまき



赤紅梅



用云

紅梅 紅うとさるに經白と。
律 紅赤とありさるあれど。
さる。さるさるさる。梅さる
さる。さるさるさるさるさる人
さるさるさる。ほほほほ。
さるさるさるさるさるさるさる
さるさるさる

さるさる
本説
さるさる



さるさる
一色
さるさる

櫻色



紅うと 一名紅かり
俗に紅うと云

又 和名は朱さるるとも
うす紅のさるさる也

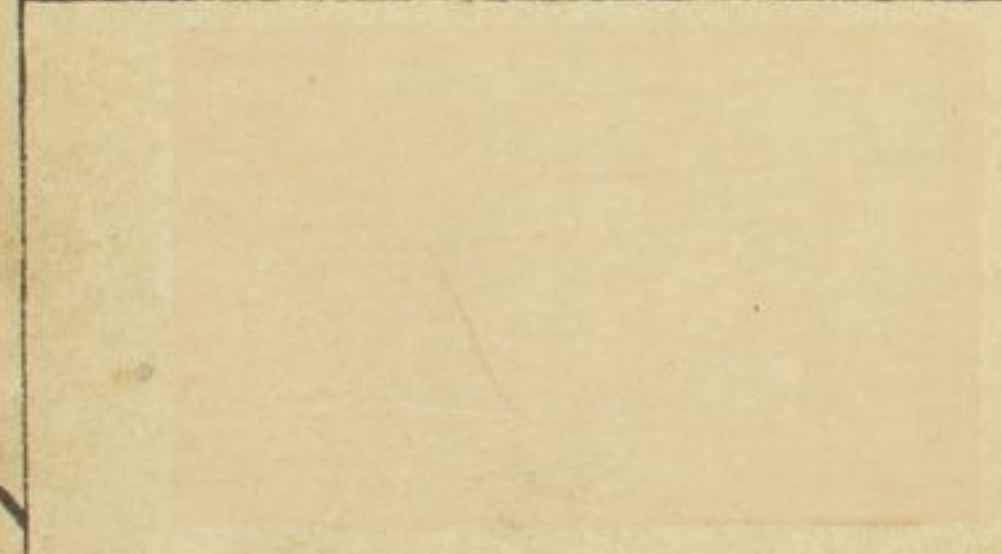


延壽式
香色に
さるさる
さるさる
さるさる
さるさる

あさぎ
又
さるさる



あさぎ
或
さるさる



美濃

かきいろ



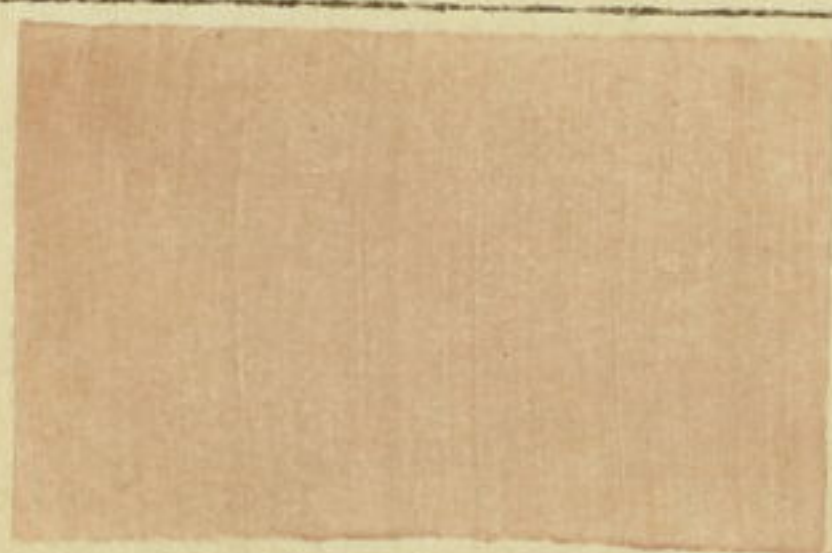
紅とび



かぢや



やばと柿



天和の頃
そうえんが
ちやの名ありて
一町の町に
あり

とまぐさ茶



照柿



きり茶

地をぬりぬり
おききり茶
のこのま
とまぐさ

きり茶

古名
きり茶
又
おら
のり

丹去
古名
けい
又
藍草

丹去
古名
けい
又
藍草

のりご 古名
みどりご



かすみ茶

尚世
たろくひと号

一花
むくの茶
はらあ

松葉色

古名
改年申
あまびらご
名のて二の
しう



あまびら茶



みどり色

俗よ
こんびらうど
とらふ

淡あへど

修り号と織
ありのた
のりあへ
一花あり

のりご
みどり茶



根津根沢のさしみのせり
あまびらご
あまびらご
ろんのをうかう。さうさう。わん
このひるさうだよとて。この
しるをあまびら茶とせ。あま
びら茶とせ。あまびら茶とせ
の名ごまらまね

木才管片

紅毛 古名



いぶらあ、こたをうらま
隆とりの股假間事より
しをたかろくまを
考れが、今のあゝ後づ
又いぶらあぞう

古毛

俗に
後づ



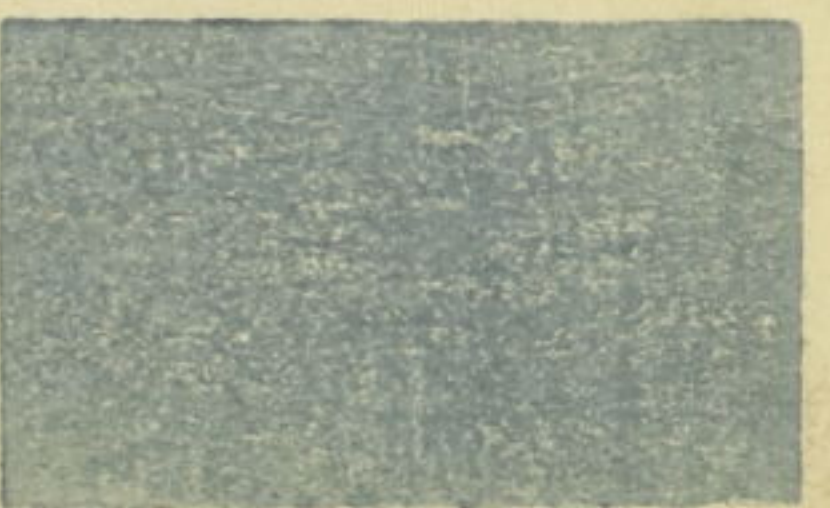
あゝ後づ



紅毛



あゝあまが



生毛 紅毛



生毛

後づ



よぢ
あまの
あまの



あまの

あまの
あまの
あまの



あまの



あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの



あまの
あまの
あまの

あまの



あまの



あまの



いと井糸



こび糸



ゆる糸



あろ
盛こび糸 一名
アコ糸



こび糸



ゆる糸



いん
威光糸
式
柳糸



水が
俗
は糸



莫義
印用

十一

十一

十一

茶本茶



柿兼房色



湯

又 湯世
とん 飛と



三升とび或黒不え
古名むらき紀とび



和紋ぐうやうの夏并湯解

むしきね子さうか。つてく。あま。紋とけ

ひあ。めんく。そのかんご。とさうとさう。

あや。とさう。ゆきよま。れ紋。ら。ら。ら。

あり。その。に。あ。れ。り。さ。う。あ。る。た。い。と。て

花紋と。兼。号。れ。わ。ら。あ。く。さ。う。と。あ。ご。る。こ。と。

あ。や。る。と。さ。う。が。最。明。寺。願。家。の。紋。た。い。さ。ん。筋

目。も。さ。ご。と。あ。り。え。れ。る。と。作。り。し。よ。う。あ。の。が。ら

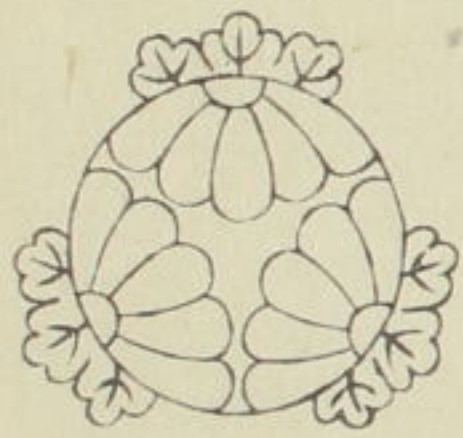
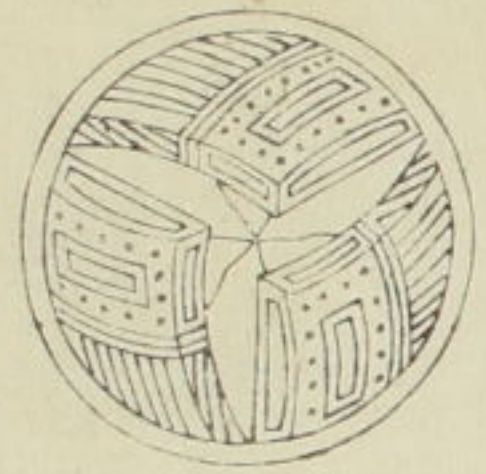
法。母。う。ろ。ん。の。家。紋。と。ら。ひ。ご。定。り。の。は。く

て。習。ご。と。法。例。と。ま。さ。く。一。門。の。さ。ご。を

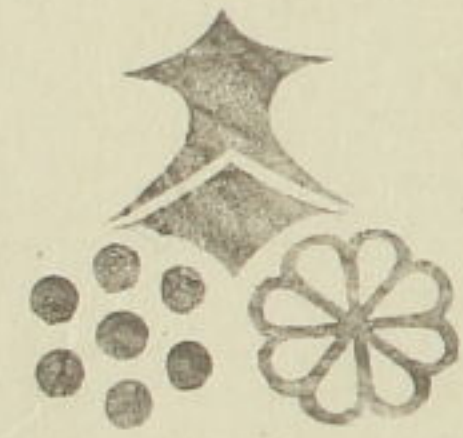
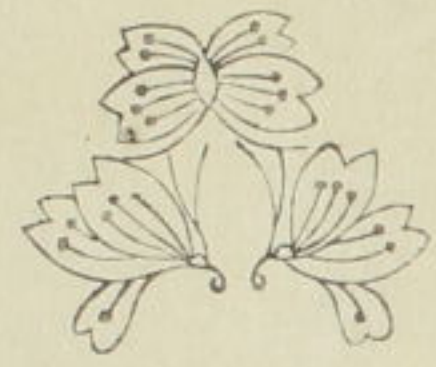
り。て。わ。ら。り。の。と。あ。り。ぬ。さ。れ。ど。も。か。ら。に。習。れ。ん。と。

如。の。つ。け。ん。み。ほ。よ。う。て。や。さ。と。あ。と。さ。う。け

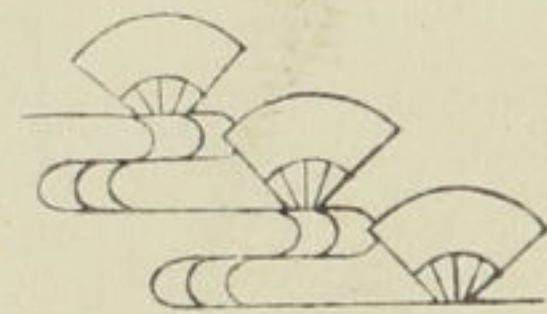
こ。と。あ。り。の。さ。う。に。あ。り。の。う。た。と。が。本。紋。



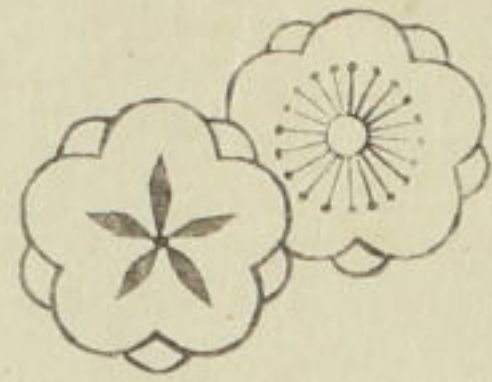
三つわり紋



三つわり紋



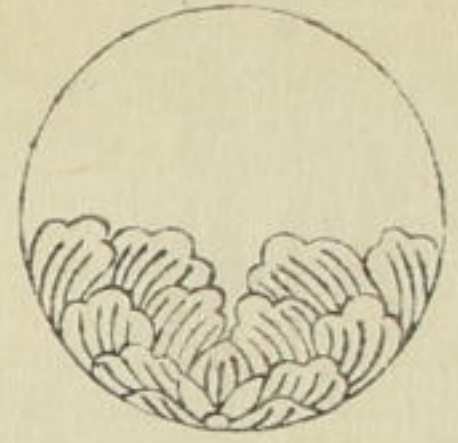
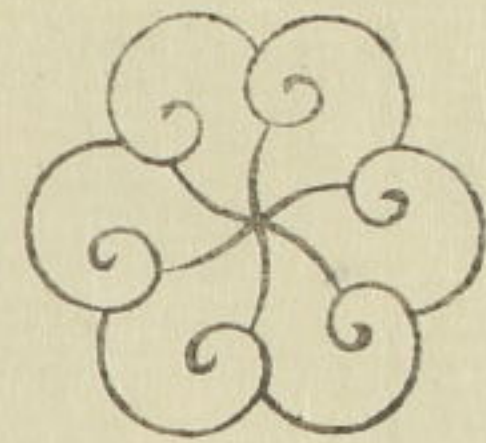
なごり



なごり

なごり

なごり



のぞねもん

かちん紋

あめりん、まん紋等
これふおろし

あめりんとしつ、白ぬきま
上めて、わろたかりをなきたるを
いふたご、まろ紋まろし

かげりん、まの中、りんのま、
まろし、入るまろし、まろし、
まろし、入るまろし、まろし、

